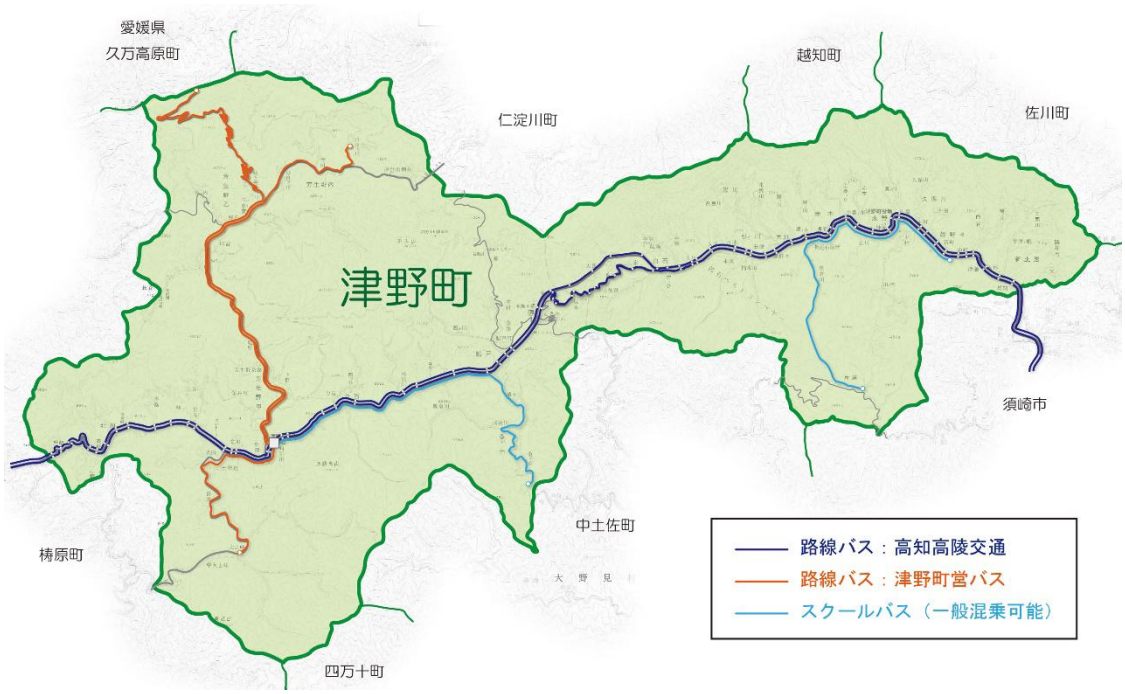
第２章：公共交通の現況

１．既存公共交通網

津野町と隣接する自治体をつなぐ路線として、高知高陵交通の路線バスが須崎市方面と梼原町方面をつないで運行している。また、町内の公共交通網として、津野町が運行する町営バスが新田を中心に 3 路線運行しているほか、一般混乗が可能なスクールバスとして、東地区と西地区にてそれぞれ 1 路線ずつ運行している。

タクシーは、東地区と西地区にそれぞれ 1 社ずつタクシー事業者が事業を行っている。



図：津野町の公共交通網

表：津野町を中心とする広域公共交通網一覧

種類	モード	運行事業者	備考
広域公共交通網	路線バス	高知高陵交通	
地域内公共交通網	路線バス	津野町営バス	自治体有償運送として運行
	スクールバス	津野町教育委員会	一般混乗可能
	タクシー事業者	葉山ハイヤー	
		新田ハイヤー	

２．路線バス

１）運行路線とダイヤ

津野町を挟んで、須崎市と梼原町の間を運行している高知高陵交通の路線バスは町内を２路線（新道経由、旧道経由）で運行している。

１日当たりの運行回数は７回で、内２回が旧道経由となっている。

町内では全域でフリー乗降が可能となっている。

表：運行ダイヤ［須崎市方面行き］

	梼原	新田	大西口	杉ノ川	葉山小前	須崎（営）
新道経由	6:23	6:40	―	7:01	7:09	7:34
旧道経由	7:00	7:17	7:38	7:49	7:57	8:17
新道経由	8:20	8:37	―	8:58	9:06	9:31
新道経由	11:05	11:22	―	11:43	11:51	12:11
旧道経由	14:10	14:27	14:48	14:59	15:07	15:32
新道経由	16:00	16:17	―	16:38	16:46	17:11
新道経由	17:20	17:37	―	17:58	18:06	18:31

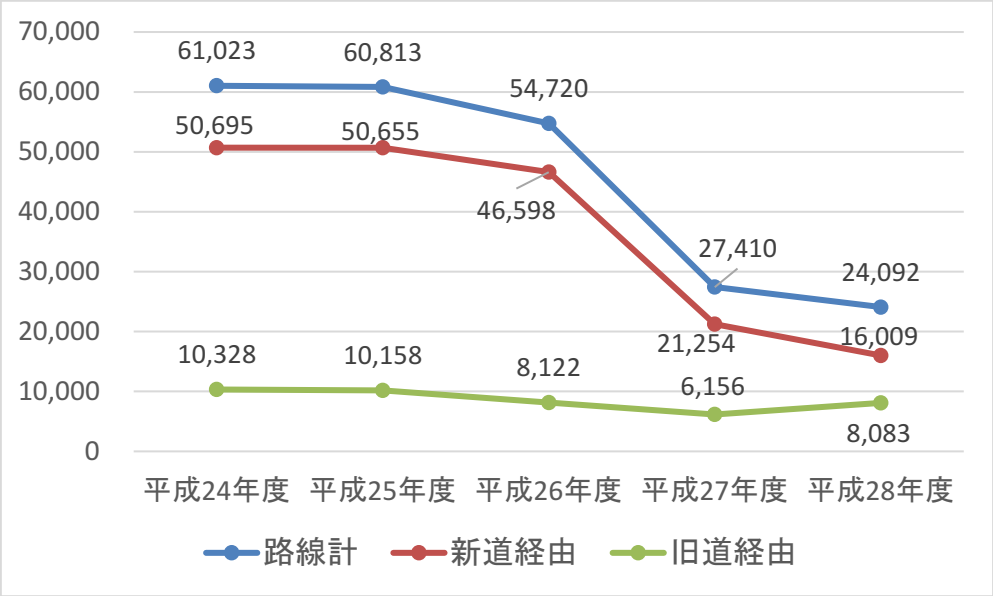
表：運行ダイヤ［梼原町方面行き］

	須崎（営）	葉山小前	杉ノ川	大西口	新田	梼原
新道経由	6:45	7:10	7:18	―	7:40	7:57
新道経由	8:15	8:40	8:48	―	9:10	9:27
旧道経由	10:25	10:50	10:58	11:09	11:30	11:47
旧道経由	13:10	13:35	13:43	13:54	14:15	14:32
新道経由	15:30	15:55	16:03	―	16:25	16:42
新道経由	17:30	17:53	18:01	―	18:23	18:40
新道経由	18:53	19:18	19:26	―	19:48	20:05

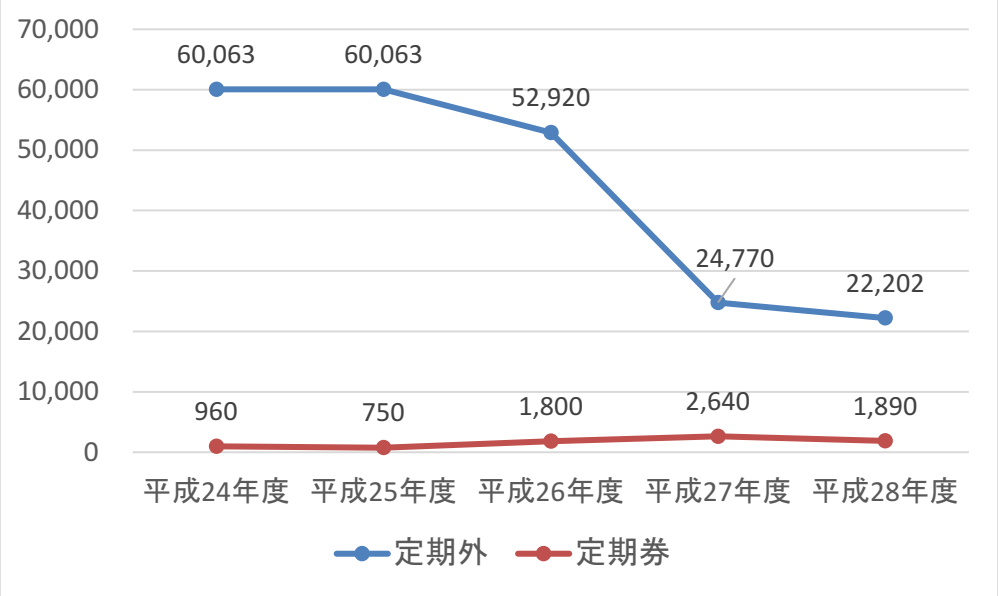
２）利用状況［各年度は路線バスの年度］

利用者数の推移を見てみると、旧道経由路線は大きな減少にはつながっていないものの、新道経由路線が平成 27 年度に半減以下となる大きな減少となっている。また、支払方法でも、定期券利用者の数に大きな変化はなく、定期券外の利用者数が大きく減少していることがわかる。これは、高知高陵交通と親会社とで実施した路線の分割（高知市から梼原まで運行していた路線を須崎で分割した）が大きく影響しているものと推測される。

図：利用者数の推移



図：定期券外及び定期券利用の推移



3）停留所別利用状況［平成 28 年 5 月～12 月］

	乗降	須崎方面	梼原方面
馬関橋	乗	74	5
	降	2	45
新土居	乗	49	0
	降	9	66
ムクノ木	乗	1	7
	降	43	50
西谷口	乗	11	0
	降	1	7
山崎	乗	1	0
	降	0	2
姫野々新町	乗	180	1
	降	2	156
葉山荘前	乗	38	66
	降	68	91
葉山小学校前	乗	258	120
	降	152	261
姫野々上町	乗	146	1
	降	5	96
久保川橋	乗	107	47
	降	37	81
永野	乗	5	57
	降	18	6
葉山役場前	乗	66	47
	降	92	90
聖音寺前	乗	4	5
	降	10	8
石神奈路	乗	15	7
	降	3	23
赤木	乗	13	0
	降	1	10
桑の川口	乗	19	3
	降	1	21
船野入口	乗	2	0
	降	0	2
梶足	乗	14	2
	降	2	14
栗の木入口	乗	68	3
	降	2	32
大野	乗	245	5
	降	6	241
黒川入口	乗	70	10
	降	10	58
農協西支所前	乗	1	0
	降	1	1
杉の川	乗	15	1
	降	2	20
診療所前	乗	11	21
	降	21	9
日浦	乗	30	4
	降	2	23
大谷橋	乗	2	0
	降	0	4
大川下	乗	31	1
	降	2	8
大川第一	乗	36	41
	降	12	37

	乗降	須崎方面	梼原方面
大川	乗	4	0
	降	0	6
桃ノ木大橋	乗	1	3
	降	0	0
駄馬	乗	37	0
	降	8	16
新重谷	乗	86	2
	降	3	53
新大西橋	乗	32	14
	降	13	13
桂トンネル	乗	21	11
	降	3	36
布施ケ坂公園	乗	6	1
	降	3	18
船戸東	乗	36	7
	降	8	32
船戸	乗	9	15
	降	12	16
教習所前	乗	0	0
	降	0	0
大野見分岐	乗	5	0
	降	12	0
上森獄	乗	7	0
	降	1	13
川上橋	乗	0	0
	降	0	0
烏出川	乗	1	5
	降	7	1
芹川入口	乗	32	5
	降	4	31
力石	乗	0	0
	降	0	0
力石西	乗	0	0
	降	0	0
高原荘前	乗	94	8
	降	18	90
新田東口	乗	39	1
	降	1	44
東津野役場前	乗	279	23
	降	63	425
新田	乗	318	121
	降	93	173
北川	乗	66	2
	降	1	60
北川西	乗	7	0
	降	0	2
大古味分岐	乗	78	7
	降	14	83
宮谷	乗	5	0
	降	0	3
木桑川橋	乗	0	1
	降	1	0
お大師前	乗	0	0
	降	0	0
木桑口	乗	2	0
	降	0	0
戸別当トンネル東口	乗	0	0
	降	0	0
戸別当トンネル西口	乗	1	0
	降	1	5
西坂口	乗	33	13
	降	12	10
高野局前	乗	2	10
	降	14	26
高野	乗	14	80
	降	100	10
柿の木	乗	8	6
	降	16	2
高野平野	乗	0	2
	降	1	0
中坂	乗	11	27
	降	28	7

	乗降	須崎方面	梼原方面
大川橋	乗	27	0
	降	0	36
桃の木	乗	1	0
	降	0	13
二ツ家	乗	2	0
	降	0	0
白石小学校前	乗	0	0
	降	20	1
重谷	乗	11	1
	降	0	38
大西口	乗	0	1
	降	0	2
竹ケ谷	乗	0	0
	降	0	1
竹ケ谷橋	乗	2	0
	降	0	4
上の段	乗	1	0
	降	0	0
桂	乗	6	3
	降	0	1
上桂	乗	1	5
	降	2	1
熊野神社前	乗	7	2
	降	0	0

平成 28 年 5 月～12 月における高知高陵交通の停留所別乗降者数を IC カード「ですか」データから整理した。

姫野々周辺、大野周辺、新田周辺などに利用が多い停留所が集まっている。

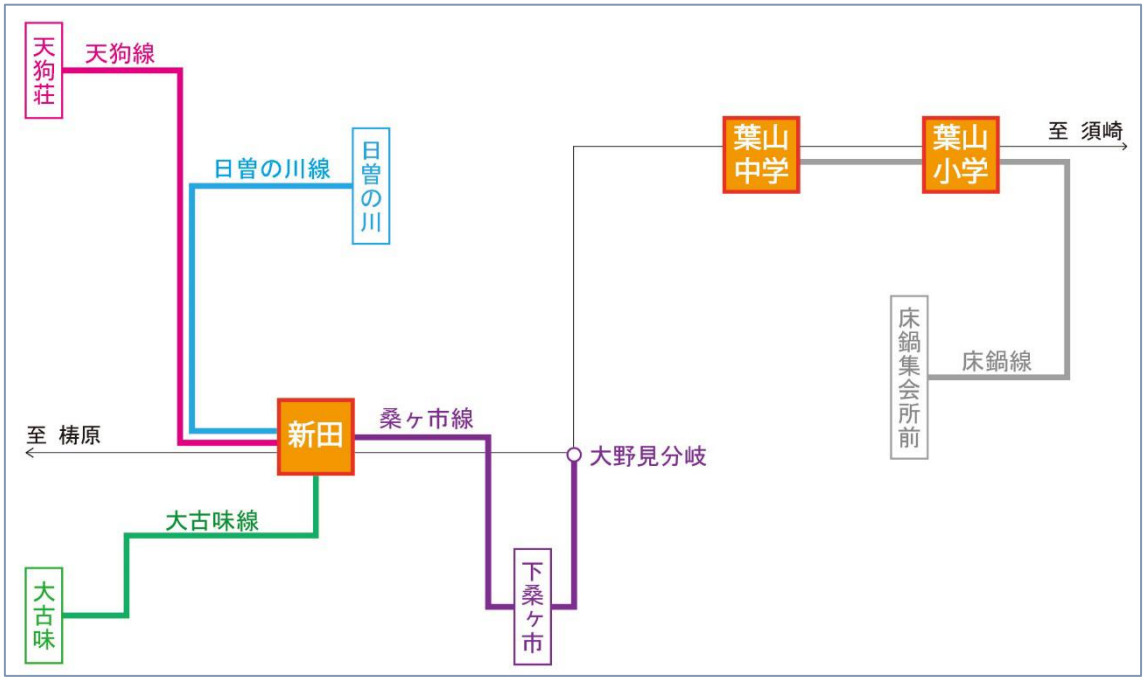
高野地区の利用者は梼原方面への移動が見られることが分かる。

３．町営バスとスクールバス（一般混乗）

１）運行路線とダイヤ

津野町が運行を地元タクシー事業者に委託し、自家用有償旅客運送の町営バスとして４つの路線を運行している。なお、桑ヶ市線については、本町による直営で運行している。

一部はスクール便として運行し、一般の利用者も混乗可能としている。



図：町営バスの路線図

表：町営バスの路線概要

路線	運行区間	運行本数（回／日）
天狗線	新田－天狗荘	2.0
日曽の川線	新田－日曽の川	4.0
大古味線	新田－大古味	3.0
桑ヶ市線（スクールバス混乗便）	新田－（大野見分岐）－下桑ヶ市	2.0
床鍋線（スクールバス混乗便）	床鍋－葉山	1.5

２）利用状況

平成 27 年度調査において、乗務員の協力を得て一定期間の利用者数を記録した。その記録を路線別に整理すると次のとおりとなっている。

① 天狗線

調査日数：38 日（1 月 18 日（月）～2 月 26 日（金）ただし 1 月 25 日、26 日は積雪のため運休）

くだり線					のぼり線				
	10:00発		15:00発			11:00発		16:00発	
	乗車	降車	乗車	降車		乗車	降車	乗車	降車
新田	3		8		天狗荘	0		0	
	0	0	0	0		0	0	0	0
保井川	0	0	0	0	白雲荘	0	0	0	0
	0	0	0	0		0	0	0	0
下野	0	0	0	0	横谷口	0	0	0	0
	0	0	0	0		0	0	0	0
奈路橋	1	0	0	0	山王	0	0	0	0
	0	0	0	0		0	0	0	0
畦屋	0	0	0	0	枝ヶ谷	2	0	1	0
	0	0	0	0		0	0	0	0
中白砂利	0	0	0	0	枝ヶ谷分岐	5	0	0	0
	0	0	0	0		0	0	0	0
小豆井谷	0	0	1	0	郷内	8	0	0	0
	0	0	0	0		0	0	0	0
長沢の滝口	0	0	0	1	旧宮	4	0	0	0
	0	0	0	0		0	0	0	0
古味口	0	0	0	0	古味口	0	0	0	0
	0	0	0	0		0	0	0	0
旧宮	0	1	0	1	長沢の滝口	1	0	1	0
	0	0	0	0		0	0	0	0
郷内	0	1	0	4	小豆井谷	1	0	0	1
	0	0	0	0		0	0	0	0
枝ヶ谷分岐	0	1	0	1	中白砂利	0	0	0	0
	0	0	0	0		0	0	0	0
枝ヶ谷	0	1	0	2	畦屋	0	0	0	0
	0	0	0	0		0	0	0	0
山王	0	0	0	0	奈路橋	1	1	0	0
	0	0	0	0		0	0	0	0
横谷口	0	0	0	0	下野	1	0	0	0
	0	0	0	0		0	0	0	0
白雲荘	0	0	0	0	保井川	0	0	0	0
	0	0	0	0		0	0	0	0
天狗荘		0		0	新田		22		1
	4	4	9	9		23	23	2	2

・利用者数が 0 の日が 17 日あり。

② 日曽の川線

調査日数：38 日（1 月 18 日（月）～2 月 26 日（金）ただし 1 月 24 日は積雪のため一部運休、25 日は積雪のため全日運休）

くだり線								
	6:15発		8:55発		12:50発		17:10発	
	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
新田	0		0		26		13	
	0	0	0	0	0	0	0	0
保井川	0	0	0	0	0	0	20	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
下野	0	0	0	0	0	1	0	1
	0	0	0	0	0	0	0	0
奈路橋	0	0	0	0	1	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
畦屋	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
中白砂利	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
小豆井谷	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
長沢の滝口	0	0	0	0	0	1	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
古味口	0	0	0	0	0	2	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
旧宮	0	0	1	0	0	1	0	1
	0	0	0	0	0	0	0	0
郷内	0	0	1	0	0	7	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
枝ヶ谷分岐	0	0	0	1	0	5	0	1
	0	0	0	0	0	0	0	0
口目ヶ市	0	0	0	1	0	10	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
寺川	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
日曽の川入口	0	0	0	0	0	0	0	3
	0	0	0	0	0	0	0	0
日曽の川集会所		0		0		1		26
	0	0	2	2	27	28	33	32

のぼり線								
	6:45発		9:25発		13:20発		17:40発	
	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
日曽の川集会所	29		1		0		0	
	0	0	0	0	0	0	0	0
日曽の川入口	4	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
寺川	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
口目ヶ市	0	0	11	0	3	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
枝ヶ谷分岐	6	0	5	1	0	0	1	0
	0	0	0	0	0	0	2	0
郷内	2	0	5	0	1	0	0	0
	0	0	1	0	0	0	1	0
旧宮	0	0	4	0	4	1	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
古味口	1	0	2	0	0	1	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
長沢の滝口	0	0	1	1	0	1	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
小豆井谷	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
中白砂利	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
畦屋	0	0	1	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
奈路橋	0	0	1	1	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
下野	1	1	0	0	1	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
保井川	0	20	0	1	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
新田		22		28		6		4
	43	43	32	32	9	9	4	4

・利用者数が０の日が６日あり。

③ 大古味線

調査日数：39 日（1 月 18 日（月）～2 月 26 日（金）ただし 1 月 25 日は積雪のため運休）

くだり線						
	6:40発		12:15発		17:00発	
	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
新田	0		6		2	
	0	0	0	0	0	0
上北川	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
大古味分岐	0	0	0	0	0	2
	0	0	0	0	0	0
番城	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
五六	0	0	0	5	0	0
	0	0	0	0	0	0
大古味		0		1		0
	0	0	6	6	2	2

のぼり線						
	7:00発		12:30発		17:15発	
	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
大古味	15		4		0	
	0	0	0	0	0	0
五六	0	0	1	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
番城	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
大古味分岐	4	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
上北川	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
新田		19		5		0
	19	19	5	5	0	0

※ くだり線 17 時発便の内、1 人は児童の下校利用

・利用者数が 0 の日が 17 日あり。

④ 桑ヶ市線（スクール便）

調査日数：30 日（1 月 18 日（月）～2 月 26 日（金）の月曜～金曜運行。ただし 1 月 20、25 日は積雪のため学校休校。また 1 月 31 日が参観日により 2 月 1 日が振り替え休日のため変則運行、2 月 6 日は中学校参観日のため桑ヶ市には入らず）

往復でのぼり線・くだり線を併用				
	7:18発		16:25発	
	乗車	降車	乗車	降車
新田			89	
			0	0
大野見分岐	0		0	0
	0	0	0	0
岩土	0	0	0	15
	0	0	0	0
西倉川分岐	0	0	0	0
	0	0	0	0
上桑ヶ市	0	0	0	13
	0	0	0	0
下桑ヶ市	97	0	0	47
	0	0	0	0
上桑ヶ市	8	0	0	14
	0	0	0	0
石倉川分岐	0	0	0	0
	0	0	0	0
岩土	25	0	0	0
	0	0	0	0
大野見分岐	0	0		0
	0	0		
新田		130		
	130	130	89	89

・雪の影響や参観日振り替え休日などによる小学校休校日に、利用者数が 0 となる日があり。
・一般の利用はなし。

⑤ 床鍋線（スクール便 混乗可）

調査日数：32 日（1 月 18 日（月）～3 月 2 日（水）の学校日に運行）

児童の利用

のぼり便	7:30発	
	乗車	降車
床鍋集会所前	148	
	0	2
葉山小学校	0	91
	0	0
葉山中学校		55
合計	148	148

くだり便	16:15発		17:30発	
	乗車	降車	乗車	降車
葉山中学校	39		16	
	0	5	0	2
葉山小学校	52	0	0	0
	0	4	0	0
床鍋集会所前		82		14
合計	91	91	16	16

一般の利用

のぼり便	7:30発	
	乗車	降車
床鍋集会所前	4	
	0	0
葉山小学校	0	4
	0	0
葉山中学校		0
合計	4	4

くだり便	16:15発		17:30発	
	乗車	降車	乗車	降車
葉山中学校	0		0	
	0	0	0	0
葉山小学校	0	0	0	0
	0	0	0	0
床鍋集会所前		0		0
合計	0	0	0	0

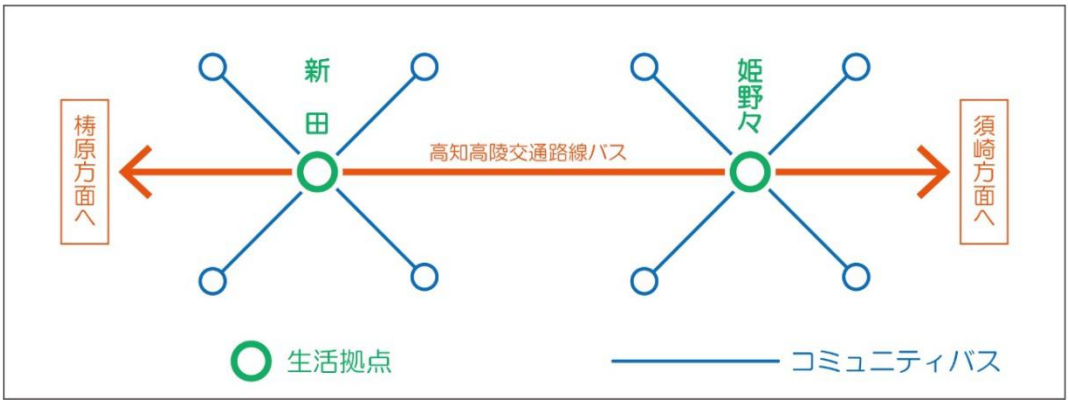
・雪の影響や参観日振り替え休日などによる小学校休校日に、利用者数が 0 となる日があり。
・一般の利用は合計で 4 回（人）。

４．新たな取り組みによる移動手段確保

１）コミュニティバス試験運行の取り組み

(1) 事業の目的

平成 27 年度の町内全域における移動手段確保に関する調査を経て明らかになった「公共交通空白地区」の問題に対応すべく、コミュニティバスを新たな移動手段として平成 28 年 11 月より試験的に運行させている。



・周辺部の集落より、生活拠点（東地区では姫野々（役場と里楽）を必ず運行し、西地区は新田を起終点とする）まで、乗り換え無しで出られることとする。
・生活拠点である姫野々と新田間の移動及び町外への移動は、高知高陵交通の路線バスを利用する。（部分的に運行が重複する区間有り）
・試験運行時は定時定路線で運行させ、本格運行移行時には試験運行の利用状況や利用者から寄せられる意見などを踏まえて、地域ニーズにあった運行方法をさらに検討する。





写真：試験運行中の津野町コミュニティバスと停留所

(2) 試験運行の路線

津野町コミュニティバスは、町内２ヶ所の生活拠点（姫野々、新田）まで出られることを目的としている。

東地区には数多くの谷間集落が存在しているため、可能な限り多くの路線数を確保すべく曜日を限定した運行としている。

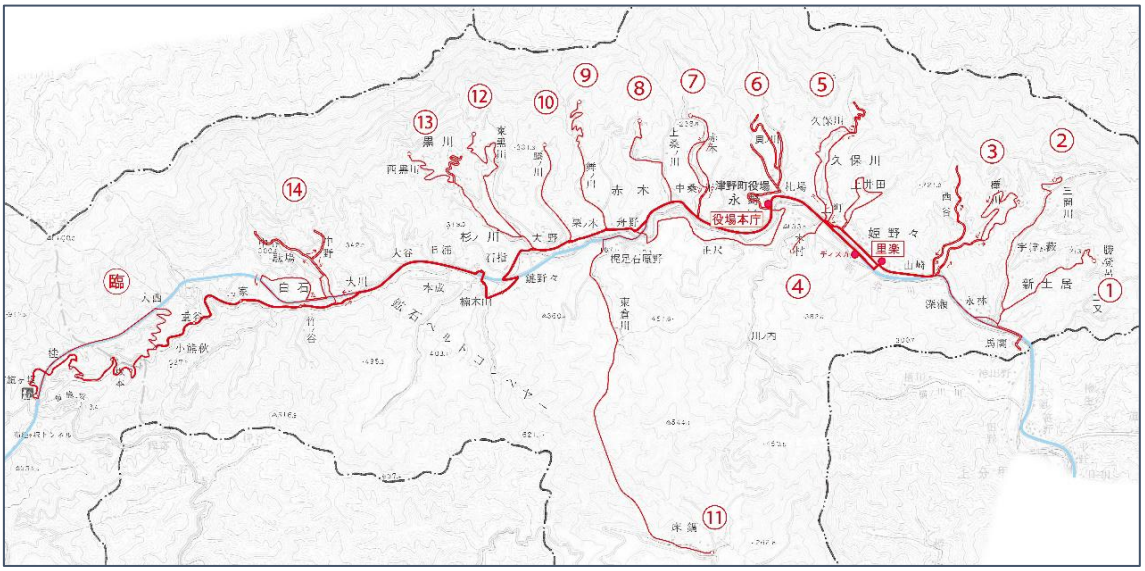
西地区には町営バスが運行しているが、コミュニティバスが本格運行に移行する際には、町営バスも合わせて再編することを前提としている。

地区	路線名称		起点	経由	終点
東地区	1	勝登呂線	役場本庁	馬関	勝登呂奥
	2	三間川線	役場本庁		三間川奥
	3	樺ノ川・西谷循環線	役場本庁	樺ノ川集会所・西谷奥	役場本庁
	4	上井田・本村線	役場本庁	上井田	本村
	5	久保川循環線	役場本庁	酒蔵ホール・久保川奥	里楽
	6	貝ノ川循環線	里楽	貝ノ川・中谷奥	里楽
	7	赤木循環線	里楽	赤木奥	里楽
	8	桑ノ川線	里楽		桑ノ川奥
	9	舞ノ川線	里楽		舞ノ川奥
	10	藤ノ川線	里楽	正尺・梶足	藤ノ川奥
	11	床鍋線	里楽	東倉川	森の巣箱
	12	東黒川線	里楽		東黒川奥
	13	西黒川線	里楽		西黒川奥
	14	駄場循環線	里楽	楠木山・中谷・仲野	里楽
	臨	臨時 大西・桂循環線	里楽	楠木山・二ツ家・重谷	里楽
西地区	17	桑ヶ市線	新田	船戸	下桑ヶ市
	18	中村循環線	新田	船戸・西の川・中村上	新田
	19	西倉川線	新田	力石・烏出川	奥倉川
	20	木桑循環線	新田	宮谷・須山・上谷分岐・峰	新田
	21	高野線	新田	大門・堂ヶ市奥・高野	野越奥

※ 町営バスとして運行している地区においては、コミュニティバスによる試験運行は行っていない

※ 臨時 大西・桂循環線は、道路が崩壊し運行が不可能となった大西方面及び桂方面をつなぐ路線を臨時路線として試験運行を行っている

東地区の路線図



西地区の路線図



(3) 利用状況

平成 28 年 11 月に試験運行を開始して以降の路線別利用状況は次のとおりとなっている。路線によって利用状況に差が生じている。中には 1 ヶ月間利用が全く無い路線があるなど、運行に関する周知と利用促進策の徹底が望まれる。

表：津野町コミュニティバスの利用状況

	路線番号・路線名	11月～合計	1日当たり利用者数		11月	1日当たり利用者数	12月	1日当たり利用者数	1月	1日当たり利用者数
1	勝登呂線	30	2.7		0	0.0	14	3.5	16	4.0
2	三間川線	26	2.6		6	3.0	13	3.3	7	1.8
3	樺ノ川・西谷循環線	6	0.6		3	1.5	0	0.0	3	0.8
4	上井田・本村線	14	1.4		2	1.0	5	1.3	7	1.8
5	久保川循環線	21	1.9		5	1.7	10	2.5	6	1.5
6	貝ノ川循環線	65	6.5		20	10.0	28	7.0	17	4.3
7	赤木循環線	58	5.3		14	4.7	22	5.5	22	5.5
8	桑ノ川線	20	1.8		3	1.0	8	2.0	9	2.3
9	舞ノ川線	35	3.2		4	1.3	19	4.8	12	3.0
10	藤ノ川線	26	2.4		8	2.7	8	2.0	10	2.5
11	床鍋線	14	1.3		1	0.3	4	1.0	9	2.3
12	東黒川線	31	2.8		6	2.0	10	2.5	15	3.8
13	西黒川線	127	12.7		19	9.5	54	13.5	54	13.5
14	駄場循環線	72	6.5		22	7.3	30	7.5	20	5.0
臨	大西・桂循環線	33	3.3		10	5.0	14	3.5	9	2.3
17	桑ヶ市線	15	1.4		2	0.7	6	1.5	7	1.8
18	中村循環線	55	5.5		11	5.5	21	5.3	23	5.8
19	西倉川線	17	1.5		9	3.0	5	1.3	3	0.8
20	木桑循環線	1	0.1		0	0.0	1	0.3	0	0.0
21	高野線	40	4.0		13	6.5	14	3.5	13	3.3
	計　20路線	706	13.3		158	12.2	286	14.3	262	13.1

５．移動手段に関する情報発信

１）ホームページを使った情報発信

高知高陵交通はホームページを活用した情報発信を行っている。

時刻表は路線別に整理されているものの、限られた停留所情報しか掲載されていない。さらに、路線図がないため、土地勘のない人には自分が使うべき路線にすらたどり着けない可能性が想定される。



出典：高知高陵交通ホームページより

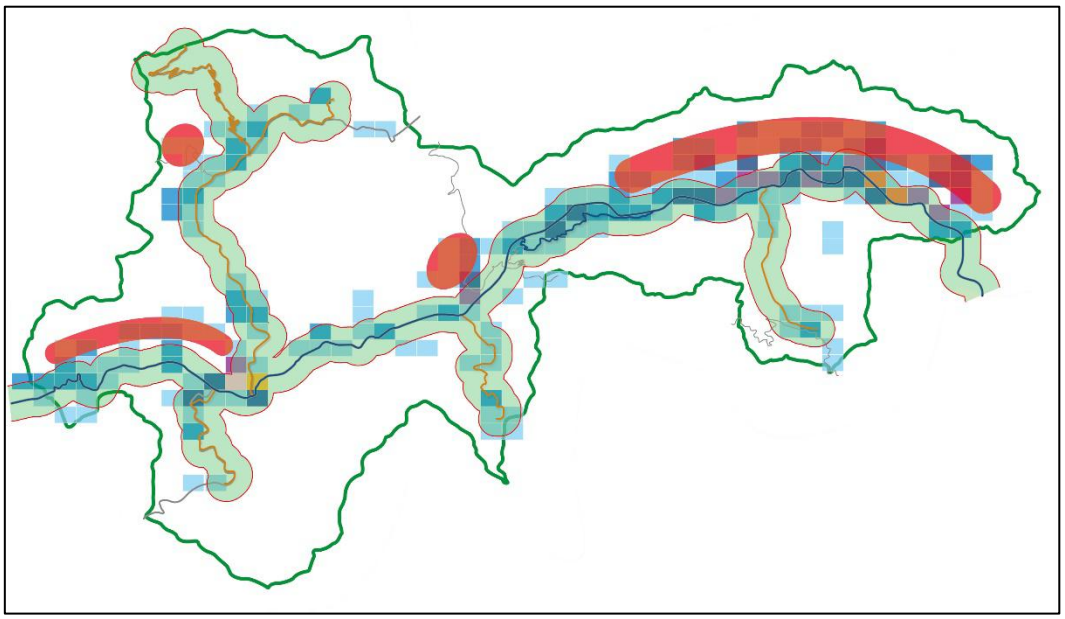
町営バスについても、観光に特化したサイトのアクセス情報から町営バスの時刻表を検索することはできるものの、路線図がないため土地勘のない人にはわかりづらくなっているものと推測される。

６．公共交通の現況から見る移動手段確保の視点における考察

① 公共交通空白地区が点在している

高知高陵交通の路線バスと町営バスのみでは、本町の公共交通空白地区（タクシーは考慮せず）が多数存在することがわかる。しかし試験運行ではあるもののコミュニティバスを運行させていることにより、大幅に公共交通空白地区の解消に繋がっている。

図：本町の公共交通空白地区



※ 赤い部分が主な公共交通空白地区

② 町営バスの一般利用者数が少ない

町営バスの一般利用者が全体的に少ない。38 日～39 日間における利用状況調査において、日曽の川線が 1 往復あたりの平均利用者数が約 1 人（0.99 人）となっている以外は全て 0.5 人以下という状況となっている。桑ヶ市線スクール混乗便の一般利用者数は 0 となっている。また、天狗線については、枝ヶ谷から天狗荘の間には一般の利用は極端に少なく、天狗荘スタッフへの聞き取り調査では、半年に 1 組程度がバスを利用してくるとのことである。ただし、天狗荘に必要な資材の輸送やスタッフの夕方の帰り便としての利用はあるとのことである。

③ 布施ヶ坂バイパスの新道と旧道に移動ニーズが分散している

国道 197 号布施ヶ坂バイパスを高知高陵交通の路線バスが運行しているが、旧国道にも 1 日当たり 2 回運行（旧道経由）している。毎日運行があるものの、2 本の運行ダイヤというのは行き便と帰り便が最初から固定されてしまう柔軟性に欠ける外出とならざるを得ないものである。また、西地区からの利用者にとっては時間が余計にかかってしまう路線となる。それでも旧道路線には少ないながらも利用者がいるため、双方に対応した取り組みが求められる。

④ 須崎市方面と梼原町方面に移動ニーズが分散している

高知高陵交通の路線バスについて、乗降の多い地区が東地区では姫野々周辺や大野のバス停となっている。同じく西地区では新田周辺が多くなっている。これらの停留所では、上り線で乗車が多く、下り線で降車が多くなっていることから、須崎市方面への移動ニーズを反映しているものと予測される。一方で、高野バス停では、下り線で乗車、上り線で降車がそれぞれ多くなっていることから、梼原町方面への移動が考えられる。国道旧道の区間では利用は少なくなっている。

⑤ 町営バスと高知高陵交通の路線バスがネットワーク化されていない

高知高陵交通の路線バスと新田を発着する町営バスとの間に、1 時間以上待たないといけない便があるなど、乗り換えしづらい便がある。実際に高齢の利用者からも要望が寄せられている。

⑥ コミュニティバスの試験運行利用者が少ない

平成 28 年 11 月より試験運行を行っているコミュニティバスであるが、全体的に利用は低調であり、路線によっては一ヶ月間で利用者は 0 というものもある。利用の比較的多い路線についてはもともと地区内での住民同士のつながりの強い地区であることが特徴としてあげられる。

⑦ 来訪者への移動手段に関する情報提供が弱い

もともと公共交通での来訪を意識していないためか、町の観光サイトにおける公共交通に関する情報が脆弱となっている。